

未来に向かって環境のトータルアドバイザー

RIKKA REPORT

立華株式会社 静岡県富士市本市場 422 01 〒416-0906 : 清水営業所
 TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654 URL <http://www.rikka.co.jp> E-mail info@rikka.co.jp

富士市・沼津市において、民間建築物の吹付けアスベスト建材が施工されているものを対象に、アスベスト含有の有無に関する分析調査に対し、補助制度が導入されました。補助条件として調査を「建築物石綿含有調査者(国土交通省登録)」が行う必要があります。

【含有分析調査についての補助金対象条件(概略)】

注意: 調査着手前に、下記申請先へ補助金交付申請手続き(相談)を必ず行って下さい。

	富士市	沼津市
対象者	各市内の民間建築物所有者または管理者	
対象建築物	吹き付けアスベスト建材が施工されている各市内の民間建築物	
補助金額	含有分析調査に要する費用(1棟あたり上限25万円)	
申請先	建築指導課 (0545-55-2791)	まちづくり指導課 (055-934-4766)

※詳細につきましては上記申請先へお問い合わせ下さい。

弊社では「建築物石綿含有調査者」が、石綿(アスベスト)含有の可能性のある「吹付け材」「保温材・耐火被覆材・断熱材」「成型板」等の分析調査を承ります。下記担当者までお気軽にご連絡下さい。

環境分析部 加藤雅士、城所 亨
 環境調査課 広瀬崇史(建築物石綿含有調査者)
 環境分析課 池田博一、入野一人

富士市本市場422の1 TEL 0545-61-8402 FAX 0545-63-9654

1. 石綿(アスベスト)とは

天然の繊維状の鉱物で、法的にはクリソタイル(白石綿)、アモサイト(茶石綿)、クロシドライト(青石綿)、アンソフィライト、トレモライト、アクチノライトの6種類が定義されています。(「厚生労働省労働基準局長通知 基発第0811002号」による。)

これら石綿は有害性が高いことから、平成18年9月より全面的に輸入・製造・使用が禁止となりました。

また、石綿建築材料は様々な種類のものがあり、解体等工事中の発じん性の程度によって、以下の3種類に分かれています。

作業レベル	発じん性	建材の種類
レベルⅠ	著しく高い	石綿含有吹付け材
レベルⅡ	高い	石綿含有保温材、石綿含有耐火被覆材、石綿含有断熱材
レベルⅢ	比較的低い	石綿含有成形板等(スレート材等)

2. 石綿(アスベスト)含有調査(事前調査)の流れ

石綿が使用されている可能性のある建築物・工作物の解体工事等を行おうとするときは、建築物等の所有者(あるいは解体工事の施工者)は、建築物等の解体前に石綿が使用されているか否かの事前調査(下記フロー参照)を行う必要があります。(大気汚染防止法第18条の17、石綿障害予防規則第3条、第8条、建設リサイクル法施行規則第2条第1項第1号)

